

特集

うつく 「美しい森」で リフレッシュ!!

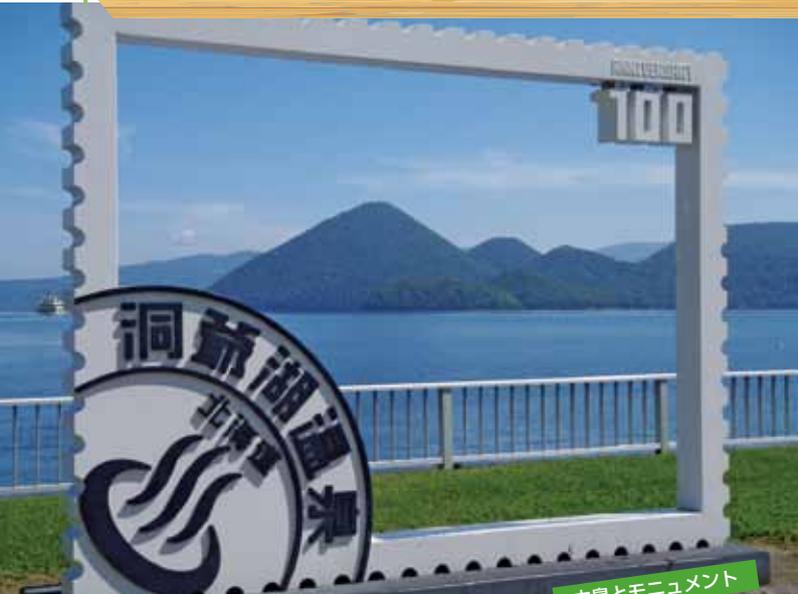
日本の国土の多くは、美しく豊かな森林につつまれています。林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、全国の国有林に設定した「レクリエーションの森」の中から、特にみなさまにお薦めしたい93カ所を「日本美しい森 お薦め国有林」として選定しています。

※記事で紹介しております施設やイベントの営業・開催状況については、事前にHP等でご確認ください。
※お出かけの際には、天候や体調、服装などに注意するほか、新型コロナウイルス感染症対策に十分努めていただきますようお願いいたします。

北海道森林管理局後志森林管理署



とうやこ 洞爺湖風景林(北海道虻田郡洞爺湖町、有珠郡壮瞥町)



中島とモニュメント



中島の遊歩道



温泉のあるキャンプ場・来夢人の家



大平原



TOYAKO マンガ・アニメフェスタ
(提供：(一社)洞爺湖温泉観光協会)

概要

洞爺湖風景林は、北海道南部に位置し国内第3位の大きさを誇る洞爺湖の中島(湖の中心部に浮かぶ大島等の総称)と湖畔の一部の森林からなる風景林です。周辺一帯は支笏洞爺湖国立公園に指定されており、全国的に知名度が高い観光地となっているため、地域住民はもとより全国から多くの観光客が訪れ、四季折々に変化する湖と調和した森林景観が訪れる人々を楽しませてくれます。

楽しみ方

湖畔は北海道の代表的な温泉地の一つであり、気軽に温泉を楽しむことができる源泉かけ流しの施設があるキャンプ場や、多目的スポーツ広場のあるキャンプ場が整備されており、アウトドアアクティビティだけではなくスポーツ宿泊のフィールドとしても利用されています。

また、湖に浮かぶ大島には今年リニューアルオープンした「中島・湖の森博物館」があり、ジオパークエリアの特徴や見どころをはじめ、洞爺湖や中島の自然環境などを紹介した展示が行われています。さらに、島内には遊歩道が整備されており、急勾配がないので体力に自信がない方でもトレッキングを楽しむことができるほか、「大平原」と呼ばれる広大な草地からは、晴れていれば羊蹄山を望むことができます。

このほかにも、湖上フィッシングや乗馬体験、ガイド付きで初心者の方でも楽しめるカヌー体験ツアーなどが用意されており、様々な体験をすることができます。

イベント

洞爺湖周辺のイベントとして、今年は10月31日(日)まで、

毎日20:45から20分間「洞爺湖ロングラン花火大会」が開催されています。また、洞爺湖温泉街がまるまるコスプレ会場となる「TOYAKO マンガ・アニメフェスタ」や、洞爺湖周辺や羊蹄山麓を舞台に行われる「北海道トライアスロン」をはじめ、年間を通して様々なイベントが開催されています。

アクセス

・公共交通機関の場合

札幌駅(JR特急スーパー北斗)～洞爺湖駅(道南バス)～洞爺湖温泉 約2時間

札幌駅(高速・連絡バス)～洞爺湖温泉 約2時間40分

新千歳空港駅(JR快速エアポート)～南千歳駅(JR特急スーパー北斗)～洞爺湖駅(道南バス)～洞爺湖温泉 約1時間30分

・車の場合

札幌駅(道央自動車道)～虻田洞爺湖IC～洞爺湖温泉 約2時間

新千歳空港(道央自動車道)～虻田洞爺湖IC～洞爺湖温泉 約1時間30分

参考ウェブサイト

洞爺湖観光のサイト 洞爺湖町 P3-9 特集 Toyako Town

<http://www.town.toyako.hokkaido.jp/tourism/>

一般社団法人洞爺湖温泉観光協会

<https://www.laketoya.com/>



洞爺湖ロングラン花火大会の様子
(提供：(一社)洞爺湖温泉観光協会)

ばんり まつばら
万里の松原自然観察教育林 (山形県酒田市)



上空からみた万里の松原自然観察教育林



万里の松原

概要

万里の松原自然観察教育林は、日本海に面した山形県の遊佐町・酒田市・鶴岡市の海岸に沿って造成された庄内海岸林の酒田市北部に位置しています。

「万里の松原」という名称はこの海岸林が総延長 34km にわたり細長く連なっている様子を「万里の長城」になぞらえて名付けられたもので、市街地に位置しているのでジョギングや散策の場として市民に広く親しまれています。

かつて、庄内海岸にはうっそうとした広葉樹林が広がっていましたが、製塩に使う薪材や建築資材を得るために長期にわたって無秩序に伐採され、松尾芭蕉が訪れた 300 余年前には烈風が吹きすさぶ一面の砂原となっており、飛砂は周辺の田畑や家屋を埋め尽くし、廃村になる集落さえありました。被害に困り果てた住民は、江戸時代中頃から庄内藩の援助のもとに試行錯誤を重ねながらクロマツの植林に取り組み、明治時代に入ってから国営林野事業の一環として続けられ、現在見られるような松林ができあがりました。

先人から受け継いだ地域の宝である「万里の松原」を守り育てていくため、市、県、国、ボランティア団体、地域住民が一体となって森林整備活動が進められ、次代を担う子ども達へ松林の大切さを伝える森林環境教育の場としても広く活用されています。

楽しみ方

万里の松原を拠点に精力的な活動を続けるボランティア団体「万里の松原に親しむ会」が交流施設として設置した「フォレストパル」は、冬期を除き開放され、散策を楽しむための様々な情報を入手することができます。また、周辺には「海岸砂防の父」と呼ばれる富樫兼治郎（注：酒田営林署長などを歴任）の顕彰碑があり、先人が苦勞して造成した庄内海岸林の歴史の一端に触れることができます。

林内にはつつじ園やあやめ園など見どころにちなんだエリア名が付けられた箇所があるほか、松林の中にはムラサキシキブやマユズミ、コナラなどいろいろな樹木を目にすることができます。四季折々の色彩を楽しませてくれる様々な植物をはじめ、小鳥た



森林整備ボランティア活動の様子 (R3.6)



つつじ園とフォレストパル

ちの美しいさえずりや時々現れるリスの姿が訪れる方々の心を癒やしてくれることでしょう。

アクセス

JR 酒田駅から徒歩約 30 分、車で約 10 分
日本海東北自動車道酒田みなとICから県道353号線を経由して約10分

参考ウェブサイト

酒田市役所

<http://www.city.sakata.lg.jp/index.html>



酒田さんぽ

<https://sakata-kankou.com/spot>



開催予定のイベント

9月25日(土) 酒田花火ショー

場所：最上川河口 (JR 酒田駅よりシャトルバスで約 10 分)

※会場で観覧する場合には事前のチケット購入が必要です (全席指定、飲酒禁止)。



昭和8年頃の庄内海岸の様子 (鶴岡市)

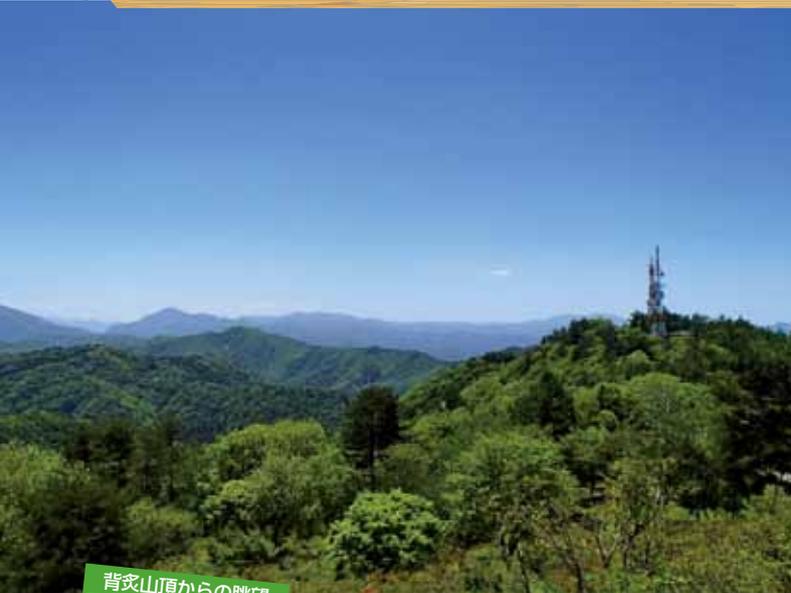


目を凝らせばこんな出会いも (写真提供：西荒瀬保育園)



関東森林管理局会津森林管理署

あいづひがしやま
会津東山自然休養林 (福島県会津若松市)



背灸山頂からの眺望



おけいの墓



磐梯山と猪苗代湖



秋晴れの中の親子連れ



自然観察会の様子

概要

会津東山自然休養林は、会津盆地と猪苗代湖を隔てる背灸山（標高823m）を中心に広がる自然休養林です。周辺は、白虎隊自刃の地である飯盛山などの全国的に有名な観光資源にも恵まれており、会津若松市内から車で25分程と近いことから、多くの方が訪れています。

背灸山の由来は、その昔、猪苗代湖畔の湊地区の人々がこの山を越えて行商や山仕事に行く際、朝は東から登る太陽を、帰りには沈む夕日を背中に浴びながら家路についたことからこの名が付いたといわれています。

楽しみ方

背灸山へは遊歩道のほか車道も整備され、手軽に訪れることができます。山頂からの眺望は特に優れており、天気の良い日には、北に飯豊山、北東に磐梯山と猪苗代湖、南に那須の山々が連なる雄大なパノラマを望むことができます。山頂は関白平と名付けられていますが、これは関白秀吉が東北鎮定の折、山頂からの眺望の雄大さに見とれ茶会を催したためと伝えられています。山頂までの道のりには、春は若草、初夏はレンゲツツジ、秋は紅葉が美しく、季節の移ろいを楽しめるスポットとなっています。また、山頂には日本女性では最初のアメリカ移民であり19歳のとき異郷で亡くなった「おけい」を憐れみ建てられた墓があります。



会津東山自然休養林園地

アスレチック公園やキャンプ場などが整備されており、家族連れで楽しむことができますので、お気軽にリフレッシュしに来はらんしょ！（どうぞお越し下さい!）

アクセス

磐越自動車道会津若松ICから車で約25分

※背灸山へ至る県道374号線は、冬季（11月～4月）は閉鎖されています。

参考ウェブサイト

一般財団法人 会津若松市公園緑地協会

https://aizu-sportspark.jp/facilities/e_seaburi.html

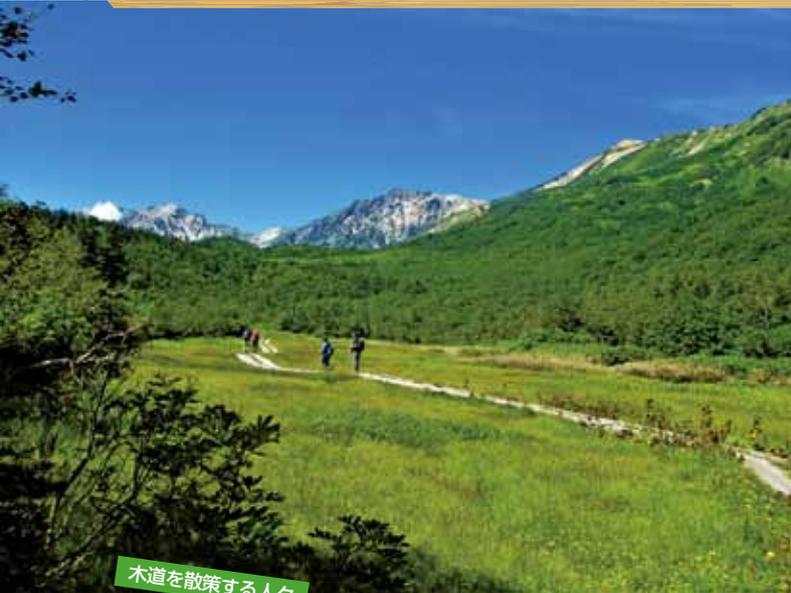
会津東山観光協会

<https://www.aizu-higashiyama.com/>





つがいけ 栂池湿原風致探勝林 (長野県北安曇郡小谷村)



木道を散策する人々



自然園、紅葉のゴンドラ



スノーシューでの散策



ナイトゴンドラからの天の川

概要

栂池湿原風致探勝林は、北アルプスを抱える長野県小谷村に位置し、全域が中部山岳国立公園に含まれているほか、その一部は長野県によって「栂池自然園」として整備されています。標高約1,900～2,200mのこのエリアは、いくつかの池塘（注：湿原の泥炭層にできる池沼）が点在する高層湿原と亜高山樹種から成る天然林で形成されており、湿原に生育する希少な高山植物をはじめ多種多様な動植物が生息しています。

日本有数のこの高層湿原は、白馬乗鞍岳の火山活動によってできた池のミズゴケ類が寒冷な気象条件下で堆積し、数千年から数万年かけて形成されました。以前は登山者だけが訪れる秘境でしたが、昭和45年（1970年）に栂池自然園が整備されたため、今では多くの方が訪れる観光名所となっています。

楽しみ方

標高約1,900mの栂池自然園へはゴンドラとロープウェイを乗り継いで気軽に訪れることができます。ロープウェイを降りれば、白馬三山をはじめとする山々の稜線が目の前に広がり、その圧倒的な自然の迫力は、訪れる人を満足させてくれるでしょう。

園内には、約5.5kmの木道が整備されており、時間や体力によって選べるコースの中にはバリアフリー木道も整備されており、小さなお子様やご年配の方でも楽しむことができます。

5月中旬は残雪と新緑のコントラスト、6月中旬から8月下旬にはミズバショウをはじめとする高山植物の花々が咲き誇り、9月から10月初旬には紅葉が鮮やかに湿原や山々を彩り、四季折々に訪れる人を楽しませてくれます。また、園内のビジターセンターではお子さま向けの自然体験プログラム「MIKKETA」が催されており、夏休みの人気プログラムとなっています。

ゴンドラ発着口の栂池高原スキー場では、夏は各種アクティビティ、冬はパウダースノーでスキーを楽しむことができます。

アクセス

・公共交通機関の場合

JR長野駅東口からアルピコ交通特急バス長野白馬線（栂池高原バス停下車）で約90分

JR松本駅からJR大糸線で白馬駅下車、アルピコ交通路線バス（栂池高原バス停下車）で約130分
栂池高原バス停からゴンドラ、ロープウェイ、徒歩で約40分

・車の場合

上信越道「長野IC」から白馬長野有料道路等でゴンドラ栂池高原駅駐車場まで約70分

長野道「安曇野IC」からゴンドラ栂池高原駅駐車場まで約80分
栂池高原駅駐車場からゴンドラ、ロープウェイ、徒歩で約40分

参考ウェブサイト

長野県小谷村観光サイト HP【栂池自然園】

<https://www.vill.otari.nagano.jp/kanko/trekking/tsugaike/>

※栂池自然園

<https://sizenen.otarimura.com/>



リュウキンカと水芭蕉



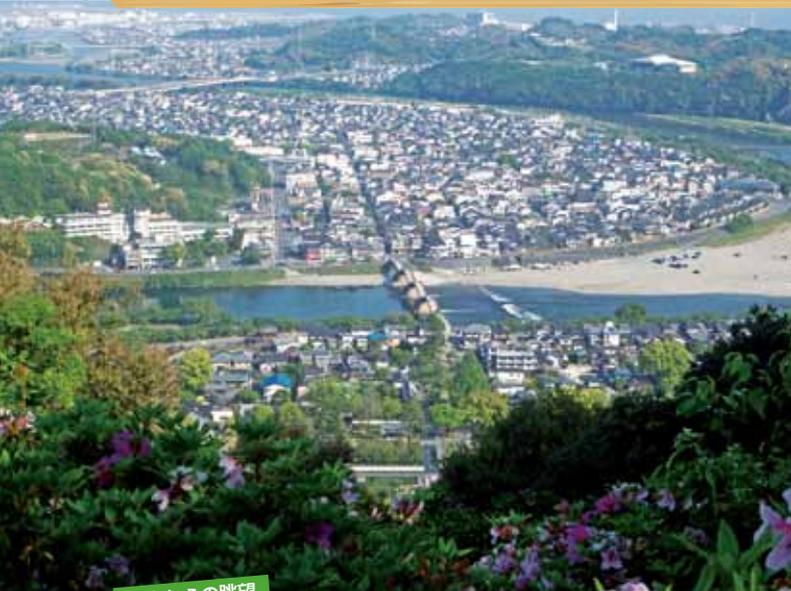
眺望

※写真提供：小谷村役場

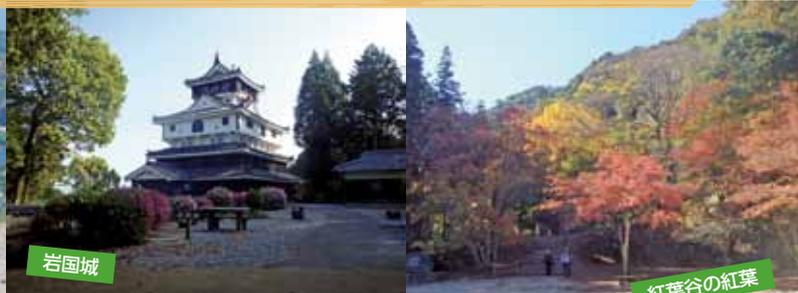


近畿中国森林管理局山口森林管理事務所

いわくに
岩国自然休養林



頂上からの眺望



岩国城

紅葉谷の紅葉



山頂へのロープウェー

城下町・本町通のまちなみ
(提供：岩国市)

概要

岩国自然休養林は、山口県東部の岩国市にある日本を代表する木造橋「錦帯橋」の借景林として大きな役割を果たしています。標高 150 m 程度の比較的緩やかな丘陵状の山地にシイ・カシ等の常緑広葉樹が主体に生育しており、一年を通して山麓の錦川をはじめ様々な樹木や草花、野鳥を観察することができます。

また、岩国自然休養林を含む「錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観」は、江戸時代の城下町に由来し、護岸や河川氾濫に対する建物の備えなど、川と密接に関わった人々の暮らしを伺い知ることができる貴重な景観として、山口県内初の「国の重要文化的景観」に選定・登録される予定となっています。

楽しみ方

城山山頂の岩国城をはじめ、山麓にも史跡や園地が多く、自然休養林やその周辺地域で気軽に歴史に触れることができます。また、山頂へのロープウェーや遊歩道が整備されており、ハイキング、自然探索、史跡探訪などのために子どもから大人まで多くの人々が訪れ、自然景観に恵まれた保健・休養の場として広く利用され

ています。

さらに、山麓の清流「錦川」では、夏には水遊びのほか、夜にはかがり火を焚いた何艘もの小舟が川面に映った姿とともに幻想的な光景をつくる「錦帯橋の鵜飼い」を鑑賞することができます。

「錦」の名のとおり、春は桜、夏は夜景、秋は紅葉、冬は雪化粧と四季折々の景観が美しく、歴史や文化を感じることもできる岩国自然休養林に出かけてみてはいかがでしょうか。

アクセス

・公共交通機関の場合

山陽新幹線 JR 新岩国駅から錦帯橋行バスで約 15 分

JR 岩国駅から錦帯橋行バスで約 20 分

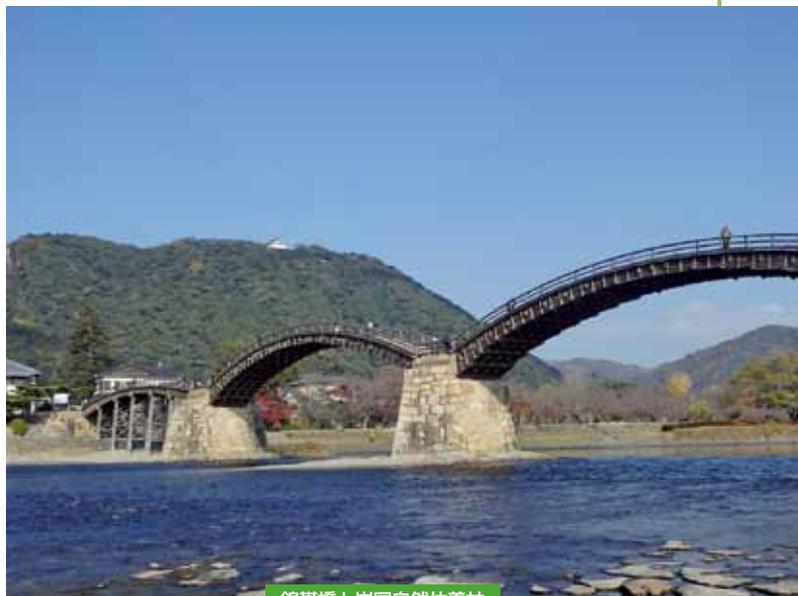
・車の場合

山陽自動車道「岩国 IC」から車で約 10 分

参考ウェブサイト

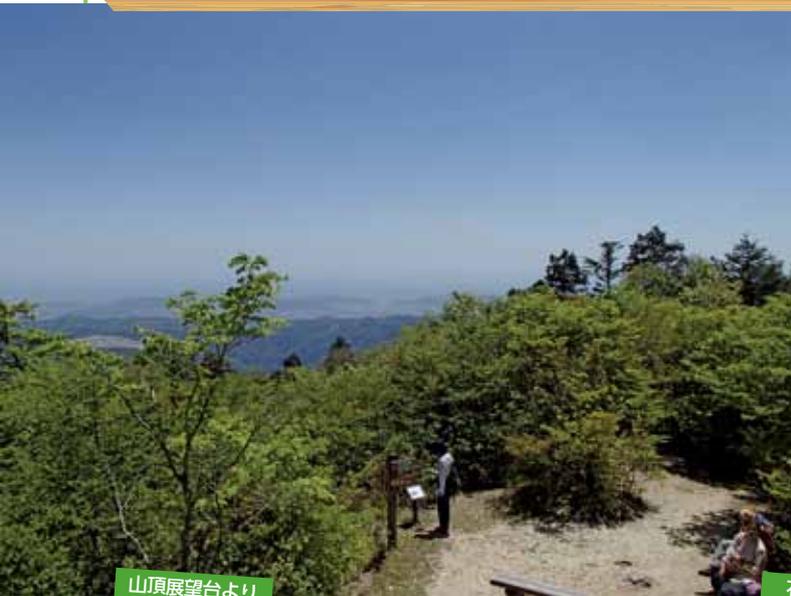
(一社) 岩国市観光協会

<http://iwakuni-kanko.jp/>



錦帯橋と岩国自然休養林

く い し や ま
工石山自然休養林 (高知県高知市、土佐町)



山頂展望台より



オンツツジ



ヒノキ屏風岩



石鎚山などの四国山地



風倒ヒノキの根張り

概要

工石山自然休養林は、高知市と土佐町にまたがり、土佐湾へそそぐ鏡川と、紀伊水道へそそぐ吉野川の支流地蔵寺川の流れを隔てる分水嶺に位置しています。南北の山頂（共に 1,177m）への登山道は緩やかで途中には休憩所等が整備されており、子どもからお年寄りまで気軽に登ることができます。

登山口は、高知市から近距離（約 26km）にあり、手軽に自然とのふれあいができる「県民の森」、「市民の森」として親しまれています。

見どころ

工石山には、妙体岩・ヒノキ屏風岩・白鷺岩などと呼ばれる特徴的な形をした岩が数多くみられるほか、過去の台風によってできた「根張り木」、サンショウウオが生息している「サイの河原」などがあり、昔から独特の愛称で親しまれています。

また、4月中旬頃にはアケボノツツジやミツバツツジ、5月上旬頃にはシャクナゲ等の低木類、9月中旬頃からはアサマリンドウなど四季折々の花が楽しめます。夏は森林浴、秋は紅葉のほか

北西に西日本最高峰の石鎚山や北東に剣山系の眺望をはじめ、四季を通じて響きわたる小鳥のさえずりなどによって、豊かな自然を体感することができます。

工石山登山道の入口近くにある「工石山青少年の家」では、年間を通じて様々なイベントが開催されています。宿泊もできるので、日帰りのみならず、時には滞在してゆっくり楽しむのもよいでしょう。

アクセス

高知自動車道「大豊IC」から車で約 45 分

高知自動車道「高知IC」から車で約 45 分

参考ウェブサイト

高知市工石山青少年の家HP

<https://kuishi-yama.com/guide-2/>

高知県森と緑の会HP > 高知自然の体験(高知市工石山青少年の家)

<https://www.moritomidori.com/sasayaki/shizentaiken/kuishiyama.html>



サイの河原



九州森林管理局宮崎北部森林管理署

むこうざかやま

向坂山野外スポーツ地域 (宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町)



絶景を望めるスキー場



阿蘇五岳

ツクシコパノミツバツツジ

霧立越の紅葉を楽しむ登山者

概要

向坂山野外スポーツ地域は、九州のほぼ中央部、宮崎県北西部の五ヶ瀬町と熊本県山都町の県境付近に位置しています。隣接する九州山地の脊梁一帯は林野庁が九州中央山地生物群集保護林に設定しているほか、環境省が九州中央山地国定公園に指定しています。この一帯には落葉広葉樹を代表するブナ林が広範囲に生育しており、一部にはモミ・ツガ等の常緑針葉樹もみられます。また、ヤマシャクヤクやシャクナゲ、ツツジなどが訪れる人々の目を楽しませてくれます。

楽しみ方

南国宮崎に位置しながらも、標高1,600mを超える向坂山の北斜面にはスキー場としては日本最南端の「五ヶ瀬ハイランドスキー場」があります。標高差190m、最長滑走距離1,000mの2コースのゲレンデがあり、毎年12月中旬頃には九州でスキーを楽しむ数少ない場所となります。特に冬のゲレンデから望む阿蘇五岳、九重連山、祖母山・傾山の眺めは素晴らしく、最高の眺望と共にスキーを楽しむことができます。

スキー場の近くには、壇ノ浦の戦いで敗れた平家の落人が宮崎

県椎葉村に逃れるために通ったとされる歩道や、西南戦争で西郷隆盛が率いる薩摩軍が行軍して椎葉村を經由し熊本県人吉市方面に出たといわれる歩道もあり、歴史を感じながら起伏の少ない尾根沿いの歩道を歩くことができます。

また、例年秋頃には、「九州脊梁山脈トレイルラン in 五ヶ瀬」が開催されるなど、スキー以外にも多くの方々に利用されています。

アクセス

・公共交通機関の場合

JR日豊本線延岡駅から車で約2時間

・車の場合

延岡道路「延岡IC」から約1時間40分

九州中央自動車道「山都中島西IC」から約1時間10分

参考ウェブサイト

五ヶ瀬ハイランドスキー場

<http://www.gokase.co.jp/ski/>

特定非営利活動法人ごかせ観光協会

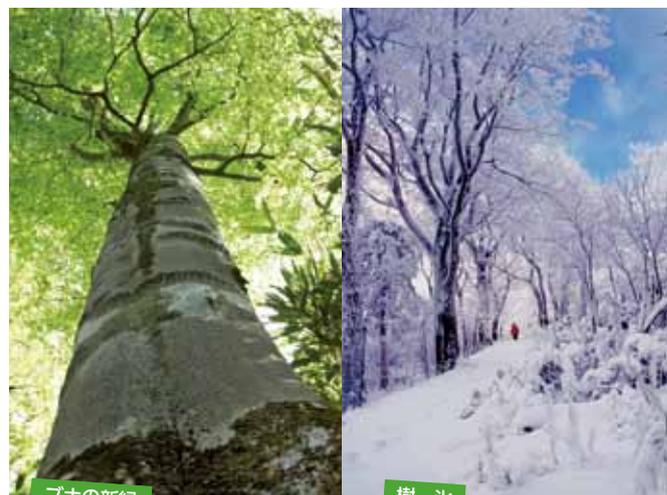
<https://gokase-kanko.jp/news>



☆ お出かけできないときは映像や情報でリフレッシュしてみませんか？

『日本美しい森 お薦め国有林』については、こちらをご覧ください。

お薦め国有林ドローン動画はこちらをご覧ください。



ブナの新緑

樹氷